



# Teaching Practice

## 日本語教育実習

<2019 春期>

英国国際教育研究所 (Institute of International Education in London = IIEL/本部:ロンドン) では、大学等で日本語教育を専攻し、海外での日本語教育実習を経験したいと考えている方、既に日本語を教えているが知識やスキルを向上させたいと思っている方を対象に、日本語教育実習プログラムを開催します。

これから日本語教師を目指す方にとって、教育実習は日本語教師になるためのきわめて重要な体験学習です。日本語についての基礎理論やさまざまな教授理論等を実際の教室でいかに活用していくか、教育実習は将来の日本語教師としての活動に大きな示唆を与えてくれます。

既に日本語教師として活躍している方の中にも、もっと自分の授業を観てもらい、指導を受けたいと思っている方が多くいます。また、どうも教え方がワンパターンになっている、これまでの教え方とは違う教え方も学びたい、といった声もよく聞かれます。

英国国際教育研究所が25年以上に及ぶ教師養成の経験と綿密な計画の下に構成した立体的な教育実習システムにより、科学的に構築された密度の濃い授業研究を実践的に学びます。

### ■種目

TP 201901 = 大学生や社会人に教える日本語教育実習

### ■概要

#### A 講義

- |                    |   |
|--------------------|---|
| A1) 授業構成・教案作成      | 授業計画をたてるにあたって必要な授業構成の基本的知識と、教案の書き方・留意点を学ぶ。            |
| A2) Micro-teaching | 具体的な指導技術を習得する。  |
| A3) 教育実習ガイダンス      | 教育実習に臨む前の心構え、実習システムの説明等を受け、授業に備える。また、学習者に関する情報が与えられる。 |

#### B 日本語教育実習

- |                  |   |
|------------------|---|
| B1) 日本語授業担当      | 1日60分間の授業をグループ(2~3人)および個人で担当する。<br>日本語学習者のレベルは初級 (Beginner ~ Elementary)。イギリス人を中心としたヨーロッパ圏出身の人たちに加えてアジア圏出身の人たちなど、さまざまな日本語学習者を対象とした教育実習です。 |
| B2) 講評(授業分析と再構築) | 各授業後、実習指導講師による講評ならびに指導を受ける。   |
| B3) ビデオ・チェック     | 各自、録画された自分の授業ビデオを見て、レビュー・シートを用いながら分析する。   |
| B4) 実習記録         | さまざまな授業記録方法について学ぶ。  |
| B5) 日本語授業参観      | 他の受講生が担当する授業を参観し、授業分析力を養う。  |
| B6) 授業研究         | 過去に行われた授業のビデオを観ながら、授業における留意点を確認する。  |

### ■期間

2019年3月25日(月)~3月29日(金) 5日間

※時間割は、10:00~18:00の間に組まれます。

※上記時間以外にも、実習準備等の時間が必要となります。コースはそれらも含め完成するものとします。

### ■応募資格

以下のいずれかの条件を満たす方が対象となります。

- ① 大学やそれに準ずる機関において日本語教育を専攻している者
- ② 上記の①と同等の学力や経験を有するとみなすことができる者

なお、申込みの際には、在学証明書等の応募資格を満たすことを証明する書類の提出が必要となります。

■定員

1 クラス 12 名程度

■セミナー学費

第一次締切日 2018 年 9 月 28 日(金)まで: £560.00

第一次締切日以降: £800.00

注 1) 参加費には宿泊費、航空運賃は含まれません。

注 2) 一旦納入された参加費はプログラムが開催されない場合を除き、一切返金されません。

■履修証明書

修了者には、英国国際教育研究所より履修証明書が発行、授与されます。

■受講生出身校例

広島大学、横浜国立大学、南山大学、筑波大学、二松学舎大学、活水女子大学、福岡女学院大学、フェリス女学院大学、昭和女子大学、学習院大学、実践女子大学、首都大学東京、桜美林大学、中央大学、佐賀大学、京都女子大学、他

■ACADEMIC ADVISERS(顧問)

英国国際教育研究所は、以下の先生方を顧問として迎え、アドバイスを得ています。

- ・アレン玉井光江(青山学院大学教授、テンプル大学大学院日本校准教授)
- ・池下幹彦(姫路獨協大学名誉教授)
- ・伊藤克敏(神奈川大学名誉教授、日本児童英語教育学会 JASTEC 元会長・現顧問)
- ・奥田邦男(広島大学名誉教授、国立大学日本語教育研究協議会元代表理事・現顧問)
- ・奥田久子(広島修道大学名誉教授)
- ・加藤清(元 CBC アナウンス部部长)
- ・栗山昌子(福岡女学院大学・大学院元教授、現大学院非常勤講師)
- ・黒井健(絵本作家「手ぶくろを買いに」「ごんぎつね」他)
- ・坂本ひとみ(東洋学園大学教授)
- ・富田祐一(学習院大学教授、「NHK 基礎英語 1」元講師)
- ・浪本勝年(立正大学元教授、日本教育政策学会会長)
- ・灰谷謙二(尾道市立大学教授)
- ・前原健二(東京学芸大学教授)
- ・毛利嘉孝(東京芸術大学教授)
- ・森田久司(愛知県立大学准教授)
- ・山里米子(沖縄児童英語教育研究会会長)
- ・吉本和弘(県立広島大学教授)
- ・若林茂則(中央大学教授、日本第二言語習得学会 J-SLA 会長)
- ・渡邊春美(京都ノートルダム女子大学特任教授、高知大学名誉教授、京都大学非常勤講師)
- ・Alessandro Benati(英国ポーツマス大学 教授 Languages and Area studies, Head of School)
- ・Annie Hughes(英国ヨーク大学 Department of Educational Studies, Assistant Director)
- ・Liang Chua Morita (名古屋大学大学院准教授)

(敬称略・五十音順)

※2018 年 9 月 1 日現在の肩書です。

## ■応募要領

### 1) 提出書類

- ① 入学願書(定型)
- ② 在学証明書等応募資格を満たすことを証明する書類
- ③ アコモデーション申込書(定型) <希望者のみ>
- ④ 学費等の銀行振込控え(もしくは利用銀行・支店名をメールで連絡してください)

\* 入学願書、アコモデーション申込書は、英国国際教育研究所ホームページにてダウンロードすることができます。  
入学願書(application form) [http://www.iiel.org.uk/\\_userdata/application\\_form.pdf](http://www.iiel.org.uk/_userdata/application_form.pdf)  
アコモデーション申込書 [http://www.iiel.org.uk/\\_userdata/accommodation\\_form.pdf](http://www.iiel.org.uk/_userdata/accommodation_form.pdf)

### 2) 申込締切日

2019年2月8日(金)

注) 定員になり次第、締め切ります。

### 3) 書類提出先

admissions@iiel.org.uk

### 4) 支払い方法

セミナー学費、アコモデーション(ホームステイ)手配料、滞在費を下記銀行口座まで振込み後、メールで、振込み日、利用された銀行名および支店名をご連絡ください。

銀行名	HSBC Bank Plc
支店名	Holborn Circus Branch
支店番号	40-11-58
口座番号	80390305
支店住所	31 Holborn, Holborn Circus, London EC1N 2HR, UK
受取人	Institute of International Education in London
受取人住所	Charlton House, Charlton Road, Charlton, London SE7 8RE, UK
受取人電話番号	020 8331 3100 (国際番号の場合は、0044 20 8331 3100)
IBAN	GB20HBUK40115880390305
BIC	HBUKGB4194P

注1) 振込手数料は全てお振込者負担とさせていただきます。

注2) 振込控えをもって参加費等の受領証とさせていただきます。

注3) 日本国内からの振込み手続き時には、マイナンバーの提示が求められる場合がございますので、予めご準備ください。

注4) 郵便局からの振込みの場合は、振込み額に(経由銀行での手数料となる)£5.00を加えて海外送金の手続きを行ってください。

### 5) 書類送付

申込手続きが完了された方には、以下の書類が送られます。

- ① 開講案内
- ② 入学許可証(Certificate of Admission)
- ③ コースハンドブック
- ④ 指導項目と担当者一覧表
- ⑤ その他教育実習参考資料

## ■アコモデーション制度<オプション>

日本語教育実習プログラム受講中の滞在先(ホームステイ)を希望により手配します。

【地域】 英国国際教育研究所英国本部キャンパス周辺(ロンドン市内)

【設備】 一人部屋(シングル・ルーム)。ベッド、机もしくはテーブル完備。

原則としてリビング・ルーム、浴室、テレビ等は共用。洗濯は週1回家族もしくは各自で行う。

【食事】 朝食・夕食付き

【手配料】 £60.00

【滞在費】 £180.00(1週間)

注1) 一旦納入された手配料・滞在費は、理由の如何を問わず一切返却いたしません。なお、手配後のキャンセルおよび変更等につきましては、それにかかる実費をお支払いいただきます。

注2) ホストファミリーの国籍、人種、家族構成等は指定できません。

注3) 手配地域はロンドン市内となります。地域の指定はできません。

注4) ホームステイでは、ホストファミリーや他に滞在している学生との共同生活となりますので、各家庭内のルールを守ってください。

注5) 滞在費の支払いは1週間単位となります(例:日曜日 in~日曜日 out で1週間と数えます)。1週間未満の場合も1週間の宿泊費をお支払いください。

## ■ キャンパス

英国国際教育研究所 (Institute of International Education in London = IIEL) 英国本部  
Charlton House, Charlton Road, Charlton, London SE7 8RE, England, UK

IIEL 本部はロンドン南東部にある世界遺産都市「グリニッジ」にあります。グリニッジは、古くは英国王室との繋がりをもち、海事、貿易の街として繁栄した街です。現在は、経度 0 の子午線が通る世界標準時の街として世界中にその名が知られ、今日も数多く残されている壮大な歴史的建造物や週末のマーケットはロンドンの観光名所の一つとなっています。テムズ河の上空を走行するロンドン初のロープウェイである「エミレーツ・エアライン Emirates Air Line」からは、高さ約 100 メートルのゴンドラからロンドン東部の景観を一望出来ます。2000 年祭に建造されたミレニアム・ドーム(現 The O2)は、現在は、コンサート会場、スポーツ・イベント、ライブ・ショー、映画館、レストランやバーなどが一堂に集まった総合エンターテインメント会場となっており、2012 年のロンドン・オリンピック、パラリンピックの会場としても使用されました。また、クイーン・エリザベス・オリンピック・パーク内には、同大会でメインスタジアムとして使われた競技場(ロンドンオリンピックスタジアム)があり、来シーズンよりサッカープレミアリーグの West Ham United の本拠地となる予定です。さらに、グリニッジは、2012 年のエリザベス女王即位 60 周年を記念し、皇室から与えられた称号“Royal”を冠した Royal Borough of Greenwich に区名が改称されるなど、ロンドン市内においても注目を集める街となっています。

## ■ その他

### 1) 受講証明書等

在籍している大学に受講証明書等の提出が必要な場合には、各自、英国国際教育研究所教務室宛に発行申請手続きを行ってください。

### 2) 渡英について

航空券等の手配は各自で行っていただきます。特に到着日等についての指定はありませんが、開講日に間に合うように渡英してください。

## ■ お問い合わせ先(日本語)

英国国際教育研究所英国本部広報室  
IIEL, Charlton House, Charlton Road, Charlton, London SE7 8RE, England, UK  
☎+44(0)20 8331 3100 E-mail: enquiries@iiel.org.uk

## ■ 英国国際教育研究所について

英国国際教育研究所(Institute of International Education in London = IIEL)は英国ロンドンに本部を置く、1989 年創立の英国の国際教育研究機関です。国際教育という視点から、教育本来の位置づけとその可能性について、研究および教育実践活動を展開しています。

研究所は、英国の教育制度に組み込まれた国家統一試験である義務教育修了試験(GCSE)および大学入学資格試験(GCE-AS/A レベル)を実施する国の公的試験センター(National Examination Centre)です。

また、日本語学、言語学、日本語教育、言語教育等を研究対象とする「日本語教育協議会(The Council of Japanese Language Teaching=CJLT)」および日英の教育制度や教育問題、さらには文化研究をその主たる研究対象とする「日英の教育と文化に関する研究協議会(The Council of Anglo-Japanese Education and Culture=CAJEC)」といった両学会の本部として、総会ならびに研究発表大会の開催、研究紀要や会報の刊行等の活動を行なっています。

さらに、英国国際教育研究所・London College of Education, Graduate School(LCE-GS)の日本語教育学研究科および英語教育学科は、語学教員資格である Diploma/Certificate を授与する Graduate School として機能しています。

加えて、研究所附属の外国語教育機関である London Language Centre(LLC)では、英国政府国際文化交流機関 The British Council 認定の英語教育とともに、外国語としての日本語教育に取り組んでいます。

また、2013 年から 2016 年までの 4 年間、日本の文部科学省の「グローバル人材育成プロジェクト(大学教育)」に参画し、日本の大学生対象の国際教育を担当しました。

研究所の活動概要につきましては、以下のウェブサイトでご確認いただけます。

<http://www.iiel.org.uk/gaiyou/gaiyou.html>